

救急、医療の連携感心

モンゴルのサービスセンター所長

西消防署 指令センター視察

モンゴル・ウランバ

ートル市救急医療サービスセンターのツェグミッド・プレブダッシュ所長(51)が15日、岡山市北区野殿西町の西消防署を訪れ、指令センターなどを視察した。

プレブダッシュ所長は、ウランバートル市(約122万人)の救急部門の最高責任

者。

指令センター職員から、けがなどで119番を受けて出動車両を決め、患者を搬送する医療機関を手配する流れについて説明を受け、「救急と医療機関の連携がよく取れている。モンゴルでも見習いたい」と話していた。

同署で視察中に起き

た山火事の映像が映された大画面や、がれきを取り除くクレーンを備えた震災工作車なども見て回った。

岡山市などで18日まで開かれている「アジア相互扶助災害医療ネットワーク会議」(国際医療ボランティアAMD A主催)への出席で来岡している。

(藤田勝久)



指令センターを見学するプレブダッシュ所長(右から2人目)